



婦人科部長あいさつ



婦人科部長
佐藤 尚明

婦人科を開設いたしました

この度呉羽総合病院に15年ぶりの婦人科を開設させていただくことになり、2020年10月2日より着任いたしました佐藤尚明と申します。これまでは東北大学医学部産科学婦人科学教室に所属し東北大学病院及び宮城県と岩手県の関連施設にて勤務してまいりました。東日本大震災を経験したものとしまして福島県で勤務をさせていただけることは、とても大

きな意義がある事と思っています。これまでの経験を活かし、地域の皆様に寄り添う婦人科診療を目指していきたくと考えております。

当院婦人科は長らく休診中でしたので開設にあたり、病院内クリニックをコンセプトとしてすべての設備・医療機器を新調しオープン致しました。いわき市内には産婦人科もしくは婦人科を標榜する医療施設が19施設ありますが、勿来地区にはわずか2施設のみと地域の皆様には長い間ご不便をおかけしていたことと存じます。あらゆる年齢の女性にとっての“かかりつけ医”をめざし、プライバシーに十分配慮しながら診察させていただきます。

近隣の先生方からのご紹介をお待ちしております。お気軽にご相談ください。

いわき市南部勿来地区の女性の“かかりつけ医”を目指します

外来診療日は月、水、金の午前および月、水の午後となっております。診療は

予約制とさせていただきますので、受診前に電話による予約をお願い致します。当科における対象疾患としましては婦人科保険診療全般（月経不順、生理痛、月経前緊張症、不正出血、子宮筋腫、子宮ポリープ、子宮内膜症、卵巣腫瘍、不妊相談、おりもの・かゆみ、性感染症、更年期障害、排尿トラブル、性器脱等）に対応致します。また自費診療として子宮がん検診、妊娠の診断、避妊薬（ピル）の処方、子宮内避妊具、緊急避妊薬（アフターピル）、月経調節（生理日の移動）、子宮頸がん予防ワクチンにも対応しています。なお妊婦健診、分娩、人工妊娠中絶には対応していません。

隣接する健康管理センターにおける子宮がん検診は、月曜日から金曜日までの週5日対応させていただく体制を整えました。今後は二次検診も当科外来にて対応させていただきます。

スタッフ一同、皆様に寄り添いながら安心・安全、丁寧・確実な診療を心がけてまいります。微力ながら地域の皆様のお役に立てるよう診療に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

健康管理センター課長あいさつ



健康管理センター課長
鈴木 浩一

自身の健康状態を知ること～ 早期発見・早期治療へ

2人に1人はがんに罹患すると言われていた時代、健康に不安を抱えて生活し

ている方も少なくないと思います。一昔前では治らないと言われていたがんも、近年医学の進歩により、早期発見の場合5年生存率は90%とも言われております。また、生活習慣病の危険因子をチェックし、生活習慣を改善することで将来の病気を予防することにも繋がります。当健康管理センターでは、皆様の不安を少しでも解消すべく、人間ドック、生活習慣病予防健診をはじめ、ニーズに沿った様々な健診・検査を実施しております。

自覚症状がないからと言って健康であるとは判断できません。症状が無く進行していく病気も少なくありません。重要なことは、自覚症状の有無に関係なく、身体に異常がないか定期的に検査し、自身の健康状態を知ることです。「異常なし」の結果は安心へと繋がり「異常あり」の結果は早期発見・早期治療の手立てとなります。

各種健診・人間ドックを受診するきっかけは人様々かもしれません。健診の重要性・必要性を伝え、勧めるだけでなく、異常があれば精密検査、二次検査を受診いただき、皆様の健康管理のお手伝いのできればと考えております。

この度、婦人科外来が開設したことで、婦人科検診が充実し、これまで対応できなかった二次検査が可能となり、より安心して当健康管理センターをご利用できると考えております。

新型コロナウイルスの影響により、健診業務を一時休止することもございました。現在も予約枠数を一部制限するなど、引き続きご迷惑をお掛けしておりますが、受診者様の安心・安全を第一に考え、感染防止対策を徹底するとともに、健康管理のお役に立てるようスタッフ一同努めて参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

呉羽総合病院健康管理センター紹介

呉羽総合病院健康管理センターでは、健康な毎日を過ごしていただき、病気への不安を解消できるよう、さまざまな健診サービスを行っております。



主な健診内容

- 日帰り人間ドック
- いわき市各種検診
- 協会けんぽ生活習慣病予防健診
- 定期健康診断
- 特殊健康診断
- 雇入時健康診断
- 脳ドック など

上記健診に加え、健康維持・増進、病気の早期発見・早期治療のため、下記のようなオプション検査も実施しております。

アミノインデックス

アミノ酸濃度を測定し、健康な人と、がんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを解析することで、現在がんである可能性を評価します。複数のがんを同時に検査することができ、がんであるかないかをはっきりと断定するものではありませんが、がんを少しでも早期に発見することができる可能性が高い検査です。

今年度より、がんのリスクの他に10年以内に脳卒中、心筋梗塞を発症するリスクと4年以内に糖尿病になるリスク、大切な栄養素でもある必須・準必須アミノ酸が現在、血液中で低下していないかどうかと一緒に評価できるようになりました！

下記項目を一度に検査できます。

男性

胃がん、肺がん、大腸がん
 膵臓がん、前立腺がん、脳疾患
 心疾患、糖尿病、アミノ酸レベル

女性

胃がん、肺がん、大腸がん
 乳がん、子宮・卵巣がん、脳疾患
 心疾患、糖尿病、アミノ酸レベル

膵臓ドック

初期に見つけにくく、見つかったときには進行しているケースが多いと言われる膵臓がんですが、腹部超音波検査（エコー検査）では、内臓脂肪や消化管ガスが邪魔をして抽出するのが難しいことがあります。当健康管理センターでは、より高い発見率を目指し、MRCP（MR胆管膵管造影）と腫瘍マーカー検査（採血）を組み合わせた膵臓ドックを実施しております。

お問い合わせ

呉羽総合病院
 健康管理センター
 TEL：0246 - 62 - 3075

健診サポートアプリ導入のご案内

この度、新たな取り組みとして、無料アプリ「CARADA 健診サポート」を導入致しました。

携帯アプリ「CARADA 健診サポート」をダウンロードいただくと、ご受診前に、検査内容や検査についての注意事項、ご自身に合ったオプション検査をスマートフォンで検索・確認することが出来ます。ご受診後には、アプリ上で検査結果だけでなく、検査項目ごとの解説が表示され

たり、二次検査の案内等、アフターフォローも充実しております。

上記の活用法以外にも、ご自身で体重・歩数・血圧・食事等、日々のバイタルデータの記録をすることも出来るため、健康意識を習慣づける事にも有効なアプリとなっております。サービスの向上と健康管理のひとつの方法としてお役に立てると思っております。ぜひ、ご活用ください。



健康管理センター保健師あいさつ



健康管理センター保健師

渡邊 千春

保健師の役割

健康診断では結果を理解し、体の変化、異常に気づき、自らの生活習慣を振り返ることが重要です。「メタボリックシンドローム」は自覚症状がほとんどないと

言われ、放っておくと動脈硬化が進み、心筋梗塞や脳卒中など命に関わる病気を引き起こす可能性が高まります。しかし、健診結果に基づいて生活習慣を改善することにより、予防することができます。そのためには、自分の健康に関するセルフケアが重要で、そのお手伝いをするのが保健師の役割です。微力ながらサポートさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

特定保健指導で健康維持・増進へ

最近お腹が出てきた！体重が増えた！ダイエットをしてもなかなか体重が落ちない！

健診でコレステロールが高い、血圧が高い、血糖値が高いと言われた！

でも、何をしても良いのかわからない…という方が多いと思います。

そのような方のために、当健康管理センターでは**特定保健指導**に力を注いでおります。

特定保健指導とは

メタボリックシンドロームのリスク数に応じて、生活習慣の改善が必要な方に行われる保健指導のことです。

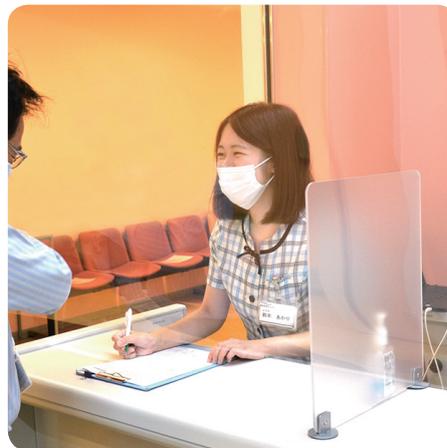
具体的には健康診断の結果説明・問診をしながら、現在の食生活、運動習慣、喫煙習慣について一緒に振り返りをします。そして、簡単で実践しやすい方法や目標を一緒に考え、対象者には継続的なフォローをしていきます。

健診受診者満足度向上を目指して



「受診者様ファースト」を掲げ受診者満足度向上のために、業務改善に日々取り組んでいます。

中でも力を入れている「接客」では、受診者様の不安や疑問を取り除けるよう、対応時の表情や言葉遣い、正確で丁寧な説明を心掛けております。関係部署との連携も密に図り、安心・安全な検査の実施、待ち時間の短縮など、チームとして、ここを選んでよかった、また来たいと思っていただけるような施設作りに努めています。



健康管理
センター
事務スタッフ

笑顔で受診者様をお迎えすることを心掛けております。

受診前の緊張を少しでも取り除き、リラックスできる空間をご提供してまいります。

健康管理
センター
看護師

受診者様の健康管理に少しでもお役に立てるよう健康状態、健康に対する不安をお聞きし、不安を取り除けるような検査のご提案、アドバイスをお心掛けております。



新任医師紹介



眼科部長

石川 誠

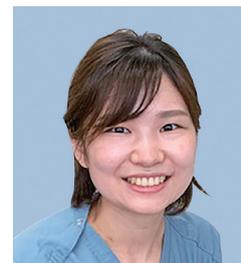
秋田県秋田市出身です。
山形大学医学部医学科卒業後、秋田大学医学部附属病院眼科勤務を経てこの度ご縁があって、呉羽総合病院に勤務させていただくことになりました。
大学病院時代は緑内障を専門にしております。
一生懸命頑張りますので、何卒よろしくをお願いいたします。



総合診療内科
泌尿器科医師

陣内 紀旭

10月から入職いたしました陣内紀旭と申します。福島県いわき市の出身です。岩手医科大学を卒業後、初期臨床研修を福島県の太田西の内病院で行いました。研修後は母校の泌尿器科学講座に入局し数年間勉強させていただきました。
今回ご縁があって地元の呉羽総合病院で総合診療内科・泌尿器科医として働かせていただくことになりました。地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張らせていただきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



消化器内科医師

陣内 雪奈

岩手県陸前高田市生まれです。岩手医大卒業後、青森県八戸市での臨床研修を経て岩手医大消化器肝臓内科へ入局しました。2019年に長女を出産後、2020年4月に職場復帰し半年間、岩手県立病院に勤務しておりました。
慣れない地での勤務で不安もありますが、地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

感染対策について

感染対策委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止および患者様がより安心して安全に受診できるように、7月より正面玄関受付機横にAIサーマルカメラを設置しております。消毒薬の設置、マスク着用の義務づけ、待ち時間で密にならないよう、診察案内メールサービスの利用や予約受診の時間を守っていただけるようのご案内しております。

また、インフルエンザワクチン接種のご案内も行っております。インフルエンザと新型コロナは症状がよく似ており、診断が難しいという問題があります。海外では新型コロナにかかった

うえにインフルエンザにもかかってしまう“重複感染”の人も出ています。特にインフルエンザB型と新型コロナに同時にかかるとう重症化しやすいというデータもあります。

新型コロナとインフルエンザが同時に流行すれば、医療機関の負担が大幅に増え、混乱が起こる可能性があります。そのためにも、インフルエンザには極力かからないよう注意する必要があります。その有効な予防手段としてインフルエンザワクチンがありますので、できるかぎり接種することをおすすめいたします。



AIサーマルカメラ

地域連携支援室

- TEL. 0246 - 63 - 2181 【代表】内線 2240
- TEL. 0246 - 62 - 3178 【直通】
- FAX. 0246 - 62 - 2035
- E-mail renkei@kureha-hosp.com
- <https://www.kureha-hosp.jp/>

■発行 社団医療法人呉羽会 呉羽総合病院
〒974-8232 いわき市錦町落合1-1
TEL. 0246-63-2181
FAX. 0246-63-0552
URL <https://www.kureha-hosp.jp/>
発行人 田中 稔
編集 地域連携支援室